

読者のみなさんは、開発教育・国際理解教育をご存知でしょうか。私は2年前から広報とともに、JICAの開発教育支援事業を担当しています。「mundi」では隔月で「世界につながる教室」を紹介していますが、日本各地でもさまざまな学校や先生方が実践に取り組まれています。

新学習指導要領では「持続可能な社会の創り手」の育成がうたわれています。持続可能な開発目標（SDGs）も徐々に教育現場へ浸透しつつあり、国際協力の現場からの教育に対する貢献に期待が高まっています。そうしたなか、開発教育をNGOとJICAが協力して推進すべく、2017年には連携の方策にも合意。出前講座や教員向け研修、教材作成等の個別実践に加えて、教育行政や学校への働きかけなど、開発教育の普及に取り組んでいます。

今回の特集では、開発途上国で実施される協力事業でのNGOとの連携を取り上げました。NGOの中には、そうした協力活動の日本国内へのフィードバックとして開発教育に取り組んでいる団体もあれば、開発教育をおもな事業として長年行っている団体もあります。NGOの協力を得て海外でフィールドワークを行ったり、文化祭でのフェアトレード商品の販売などの実践を通じて学びを深めている学校の取り組みを先生方からうかがったときは、たいへん勉強になりました。私はそのNGOと海外のプロジェクトで協働していたのですが、日本国内でそんなふうにつながっているとは、当時はよくわかっていませんでした。

今年6月、JICA地球ひろばで行われた「今こそSDGs×教育を考える」という企画に参加しました。この企画は、組織としてではなく個人として参加する運営会議メンバーによって開催されたものです。NGOとJICAが連携して、教育行政や学校に働きかけたりするなかで出てきた動きの一つです。若い学生や生徒たちが自ら動き始めているような場合もあります。NGOとJICAが連携することでそのような動きを促進し、また日本の教育にも役立てたらと、ワクワクします。

広報室長兼地球ひろば所長 天田聖

《アンケートのお願い》

プレゼント付き

JICAや記事内容についてのご意見、ご感想をお待ちしております。また、こんな企画を実施してほしいなどのご希望もぜひお寄せください。お寄せくださった方の中から、抽選でプレゼントを差し上げます。下記項目をお書き添えのうえ、巻末のアンケートはがき、Eメール、またはファクスでお送りください。

- 氏名 ●住所 ●電話番号 ●年齢 ●性別 ●職業
 - 本誌を入手した場所 ●面白かった記事 ●本誌へのご意見・ご感想 ●JICAへのご意見・ご質問 ●ご希望のプレゼント番号
- *お寄せくださったご意見・ご感想は、本誌やJICAのウェブサイトに転載する場合があります。あらかじめご了承ください。ご記入いただいた個人情報、プレゼントの発送および誌面の向上に役立てること以外の目的で使用いたしません。当選者の発表は発送をもって代えさせていただきます。

【2019年9月号のプレゼント】



① 南アフリカの
ほうろうミニマグカップ
7(直径)×6cm
1名様



② 南アフリカの編みカゴ
11.3(直径)×5cm
1名様



③ 書籍
『じゅんびはいいかい？
名もなきごさとエンカルの冒険』
末吉里花文、中川学 絵
山川出版社 1名様

◎応募締め切り 2019年10月15日

①、②はp.10-13「一からつくる未来の農村」取材班のお土産です。

mundi

SEPTEMBER 2019 No. 72
編集・発行：独立行政法人 国際協力機構
Japan International Cooperation Agency (JICA)
〒102-8012 東京都千代田区二番町5-25
二番町センタービル
TEL: 03-5226-9781 FAX: 03-5226-6396
URL: <http://www.jica.go.jp/>

制作協力：株式会社 木楽舎
〒104-0044 東京都中央区明石町11-15
ミキジ明石町ビル6F 『mundi』編集部
TEL: 03-3524-9572 FAX: 03-3524-9675
Eメール: ML_JICAPR@jica.go.jp

- アンケートの送付、定期送本、バックナンバーの取り寄せに関するお問い合わせは木楽舎までお寄せください。
- 本誌掲載の記事、写真、イラストなどの無断転載を禁じます。



定期送本のご案内

●申し込み方法

巻末の払込取扱票に、氏名・住所・電話番号・ご希望の送本期間・送付開始月号を明記の上、所定の金額（送料+手数料）を郵便局でお支払いください。入金確認後、発送の手配をいたします。入金から1週間程度かかることもありますのでご了承ください。

*複数冊、またはバックナンバーをご希望の場合は送料が異なりますので『mundi』編集部（木楽舎）までお問い合わせください。

次号予告(2019年10月1日発行予定)

10月号 特集 JICAの仕事 プロジェクトはこうして動く

内外の多様なパートナーとも連携しながら行われるJICAの仕事。その内容は広範囲にわたり、全体像は見えにくいという声も聞かれます。次号では、JICAについてもっと知りたいという読者の声にお応えし「JICAの仕事」をあらためて紹介します。



『mundi』バックナンバーはJICAのウェブサイトでもご覧になれます。

JICA mundi

検索

<http://www.jica.go.jp/publication/mundi>